



水質測定用試薬セット No.44 COD

型式: LR-COD-B-2

発色: 赤紫→緑

測定原理: アルカリ性過マンガン酸カリウム法

試薬: R-1(液体)、**R-2(液体)**、中和剤(滴ビン)

測定条件(推奨)

測定波長: 525.4nm

測定方法: 1. 検水をセルに入れ、ゼロ合わせを行なう。

2. 検水25mL を20℃に保ち、R-1試薬(液体)を付属の注射筒(又はマイクロピペット)で正しく0.5mL 加えて攪拌する。

3. R-2試薬を付属のポリピペットで1mL 加えて攪拌する。

4. R-2試薬投入10分後、吸光度を測定する。

5. 予め作成した検量線より、測定値を求める。

※ R-2試薬が変わりました。添加量にご注意ください。

「ラムダ-9000」、「デジタルパックテスト・マルチ」、「デジタルパックテスト・マルチ SP」をご使用のお客様は、添付の使用法通りに測定してください。



危険



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666
<https://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

裏面をご覧ください。

使用前、使用後の取扱い注意

応急措置

試薬・測定液が **目に入ってしまったら** → すぐに15分以上、水で洗い流してください。
痛みや異常がなくても直後に必ず眼科医の診断を受けてください。

試薬・測定液が **皮膚や衣服にふれたら** → すぐに水で洗い流してください。

試薬・測定液が **口に入ってしまったら** → すぐに水で口の中を洗い流してください。

上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

特に、試薬・測定液を飲み込んだ場合には、水または牛乳を多量に飲み、すぐに医師の診断を受けてください。
試薬の有害性については外箱背面の「GHSに基づく表示」をご参照ください。

試薬に関するお知らせ

R-2試薬は水酸化ナトリウムを含んでおり、取扱い者へのSDSの提供を義務づけた「労働安全衛生法施行令 名称等を表示し、または通知すべき危険物及び有害物」に該当します。

なお、「PRTR法」および「毒物及び劇物取締法」には該当しません。

また、過マンガン酸カリウムの割合は0.1%未満です。

測定液はpH12以上です。

COD中和剤添加後の最終廃液はpH7付近です。pHをご確認の上、廃棄してください。